

「障害者週間」をご存じですか？

障害者基本法（第九条第一項）
〔障害者週間〕

国民の間に広く基本原則に関する関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することを促進するため、障害者週間を設ける。

12月3日～9日は「障害者週間」です



(共同募金からの助成金の一部で作成しています。)

編集 NPO法人 埼玉県障害者協議会
編集責任者 田中 一
〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1
埼玉県障害者交流センター内
TEL048 (825) 0707 FAX048 (825) 3070
メールアドレス ssk080321@bz03.plala.or.jp

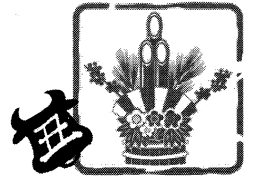
発行 NPO法人 埼玉県障害者センター
〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1
埼玉県障害者交流センター内
TEL・FAX 048 (833) 7027

発売日 毎月10日、20日、30日
定価 一部 100円(購読料は会費に含まれます)



創立40周年に寄せて

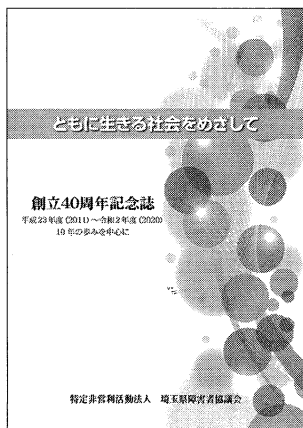
～ともに生きる社会をめざして～



特定非営利活動法人 埼玉県障害者協議会 代表理事 田中 一

特定非営利活動法人埼玉県障害者協議会は、昭和55年（1980年）の「完全参加と平等」を掲げた国際障害者年を埼玉県で成功させようと願い、昭和56年（1981年）県内の様々な障害者団体が、障害種別、思想・信条をこえて結成された埼玉県国際障害者年推進連絡協議会が前身母体です。その思いを原点に埼玉県障害者協議会と名称を変えて活動を続け、平成20年（2008年）特定非営利活動法人の認可を受け令和2年（2020年）で40周年を迎えました。加盟団体をはじめとして埼玉県、関係者の方々の御支援に心から感謝申し上げます。

昨年、『ともに生きる社会をめざして 創立40周年記念誌』一平成23年度（2011）～令和2年度（2020）10年の歩みを中心にして



て一を発行しました。当協議会の歴史の歩みの一端を記録にとどめることができたことは、次の50年に向けて貴重な証になるでしょう。

埼玉県障害者協議会の活動は多岐にわたっています。県内の36の障害者団体が加盟する障害種別をこえた横断組織として、県内の障害者団体を代表する組織として、大きな役割を担っています。

40年の歴史を振り返ってみますと、国際障害者年を埼玉で成功させるための取り組み、埼玉県障害者交流センターのオープンによる団体交流室の運營業務、埼玉県障害者社会参加推進センターの業務委託、一刻も早い市町村障害者計画策定のための市町村キャラバンの実施、県との共催による「障害者の日記念事業」の開催、共生社会をめざし障害者・家族の願いを行政に届ける活動などを精力的に行ってきました。

当協議会は、障害者が日常生活及び社会生活全般で、生きがいと豊かな暮らしの実現をめざすとともに障害者差別解消法の目的である共生社会を実現すべく、多様な活動を多くの障害当事者、障害者団体、関係者とともに今後も進めていきます。

令和2年（2020年）は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的規模で拡大しました。

時間と空間が止まり、先の見通しが立たない特異な年でした。社会経済活動、新しい生活様式など働き方・暮らし方が大きく変わりました。

新型コロナウイルス感染症は、障害のある人の命・健康・暮らしに大きな影響を及ぼしています。「終わりのない感染症はない」という名言があります。いつ収束するか先が見えませんが、私たちはコロナ禍で学んだ知見を活かし、できることから活動を前に進めていきましょう。

令和3年(2021年)は、私たちの心に潜んでいる優性思想と向き合い、コロナ社会の障害者福祉の在り方を改めて考えてみる年に

したいと思います。

40年の歳月を経て、障害者団体も大きな社会変革の波の中で日常活動の停滞、会員の減少、会員と役員の高齢化、運営資金の問題など組織の「在り方・存続」が問われています。先人たちの運動で福祉施策の充実が図られてきましたが、福祉、医療、雇用、教育、まちづくりなど様々な障害者施策の更なる充実を図るため、私たちは立場の違いを乗り越えて団結していく必要があります。

次の50周年に向けて『ともに生きる社会』をめざし、皆様の御指導・御支援をいただきつつ、創立40周年に思いを込め皆様へ心より感謝申し上げます。

NPO法人埼玉県障害者協議会創立40周年記念事業(全体・リーダー研修会)

コロナ社会における障害者福祉

～津久井やまゆり園事件を忘れず、学び、これからを考えます～

◎ 開催日時：**令和3年 2月26日(金)**

12:30～15:30【受付開始12:00】

◎ 会場：**埼玉県障害者交流センター ホール**

(さいたま市浦和区大原3-10-1)

◎ 定員：**50名(先着順)**

申込締切：**令和3年2月12日(金)まで。**

第1部

落語を楽しむ

～お腹の底から大笑いして笑門来福～

12:40～13:10

平成7年桂文生に入門。平成22年真打昇進。老人ホームや学校などで初心者向けの落語講座(落語会)を開催し、落語の舞台裏・面白さを紹介するなど、幅広く活動中。

桂文ぶん



第2部

講演：コロナ社会における障害者福祉

13:30～15:30

津久井やまゆり園事件を忘れず、学び私たちの心に潜んでいる優性思想と向き合い、コロナ社会の障害者福祉について考えます。

講師：**石渡 和実氏**
(東洋英和女学院大学教授)



要事前申込
問合せ

埼玉県障害者協議会(埼玉県障害者交流センター内)

【電話】048-825-0707

【FAX】048-825-3070

【メール】ssk080321@bz03.plala.or.jp



新型コロナウイルス感染拡大の状況により、中止する場合があります

令和2年度 地区研修会報告

いつかの涙を光にかえて ～トイピアノ演奏とお話～

語りと演奏：^{たびおとしや}旅音舎ピアニスト ^{はた}畑 ^{ともえ}奉枝 様



埼玉県精神障害者家族会連合会
事務局長 ^{しろうち}白内 ^{みわこ}美和子

令和2年11月30日越谷中央市民会館で地区研修会「トイピアノ演奏とお話」を、ピアニストの畑奉枝様をお招きして開催いたしました。

コロナ禍での開催のため、密にならない会場確保（約300席の会場に100人可能）、消毒液の準備などコロナ感染防止への配慮を怠らないように努めました。

また、近隣の家族会の協力を得てより広く宣伝いたしました。しかしコロナ感染者が増加の時期に当たってしまい、当日は34名の来場者で気落ちしましたが、チラシを見て来てくださった方もいてそれは嬉しいことでした。

会の前半はトイピアノ（おもちゃのピアノ）との出会いとその魅力を『コトコト素朴な音色、カチャカチャなる鍵盤、不完全だからこそ感じる愛おしさ』と語り、そしてグランドピアノと5台のトイピアノのコラボレーションで演奏。「宵待ち草」「第三の男」等々。

後半は、お兄様の統合失調症の発症で壊れてしまった家族関係から逃げ出すように故郷を離れ、音楽事務所を立ち上げまでの苦労について、演奏を入れながら語って下さいました。

お兄様はトイピアノと初めて出会った時「おもちゃなんやろ？自由なんやろ？不完全な人間の俺には気が楽だ」とオリジナル曲を奏で、今も次々作曲されているそうです。（家族関係回復）

畑様は「全国の家族会の人にご自身の言葉と演奏で希望を伝えるゆるキャラになりたい」とおっしゃり、その曲をコンサートで演奏されてます。

医療的ケア児・者の生活と 支援の現状

障害児者を守る所沢連絡会
会長 ^{くすだ}楠田 ^{ふさお}房雄

11月29日に、主催埼玉県障害者協議会、共催は障害者の生活と権利を守る埼玉県民連絡協議会・障害児者を守る所沢連絡会・NPO法人埼玉障害者センターで開催されました。

会場の所沢市中央公民館に23人、ズームでも20人以上の方々が参加されました。

前半は国立成育医療研究センターもみじの家ハウスマネージャー、内田勝康（うちだかつやす）氏の講演でした。医療的ケア児とは、日常生活で痰の吸入・人工呼吸器使用・経管栄養などを必要とする子供たちです。NHKのアナウンサー時代に、クローズアップ日本で取り上げたことがきっかけで、退職してもみじの家に就職されたそうです。医療の進歩で掛け替えのない命が救われ、現在医療的ケア児は2万人います。上記施設は、このような子を受け入れる短期入所施設です。日頃24時間命と向き合う環境に置かれている親が、介護から解放され、共に宿泊もできます。帰宅の際には親子に笑顔が戻ります。

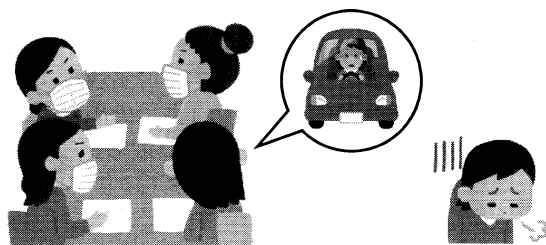
しかし、施設運営は公的支援だけでは赤字が年2千万円に及ぶので、父母が設立を望んでも、民間事業者には難しいようです。

後半のママたちによるリレートークでは、4人が発言しました。特別支援学校でもスクールバスに乗せてもらえないので通学には親の送迎が必要、教室での付き添いも求められます。地域との交流の機会も持てないので心も疲弊する等、切実な現状が語られました。

来場者の感想

『我が家も』
という希望が
感じられた

少し不完全でも
合わさって素晴らしい
演奏になる。



令和2年度 障害者レクリエーション活動等実施事業（県委託事業）

ポッチャ体験教室

- ◎ 日 時 令和3年2月20日（土）
午後1時30分～3時30分（受付：午後1時～）
- ◎ 会 場 川越市総合福祉センター2階 体育室
- ◎ 費 用 無料
- ◎ 対 象 障害のある方、その家族。ポッチャに興味のある方
- ◎ 定 員 20名（事前申込み制）

重度の障害のある方にも親しまれ、パラリンピックの正式種目になっているポッチャの体験をしてみませんか？



申込締切：令和3年2月10日（水）まで

要事前申込
問合せ

埼玉県障害者協議会（埼玉県障害者交流センター内）

【電話】048-825-0707

【FAX】048-825-3070

【メール】ssk080321@bz03.plala.or.jp



新型コロナウイルス感染拡大の状況により、中止する場合があります

＜賛助会員加入のコーナー＞

私たちは、埼玉県障害者協議会の活動を応援しています。

一般社団法人 埼玉県障害者スポーツ協会

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会は、すべての人にスポーツを楽しんでほしい。

「競技」だけでなく、日常的に取り組めるスポーツ活動を応援したい。をスローガンに日々活動しています。

障がいがあるなしにかかわらず、健康で元気に生活するために、スポーツの持つ様々な要素・スポーツの力が必要です。

今後とも、埼玉県障害者協議会同様ご支援ご協力をお願いいたします。

株式会社 双信舎印刷

〒330-0044 さいたま市浦和区瀬ヶ崎2-16-10

TEL. 048(886)5556 FAX. 048(881)0975

E-mail : sosinsya@f5.dion.ne.jp

埼玉県障害者協議会の目的に賛同しご協力頂ける、個人及び団体を募集しております。賛助会員には年8回の会報の送付、各種研修会・講演会などのご案内を送付いたします。賛助会員の会費は、年一口 2,000円です。入会をご希望の方は、下記の口座へお振込み下さい。

特定非営利活動法人 埼玉県障害者協議会

＜郵便振替＞【口座番号】00130-9-673233

【口座名称】特定非営利活動法人 埼玉県障害者協議会

◇ 編集後記 ◇

昨年はコロナ禍において私たちの生活がすっかり様変わりしましたが、皆様はどのような新年を迎えましたか？今年も丑は十二支の2番目の干支で、子年に蒔いた種が芽を出し成長していく時期とされており、転じて先を急がず目のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくとされているそうです。目のことを着実に・・・大切なことですね。

大変なことも多いですが、私もそういう1年にしたいと思っています。

（塩原）